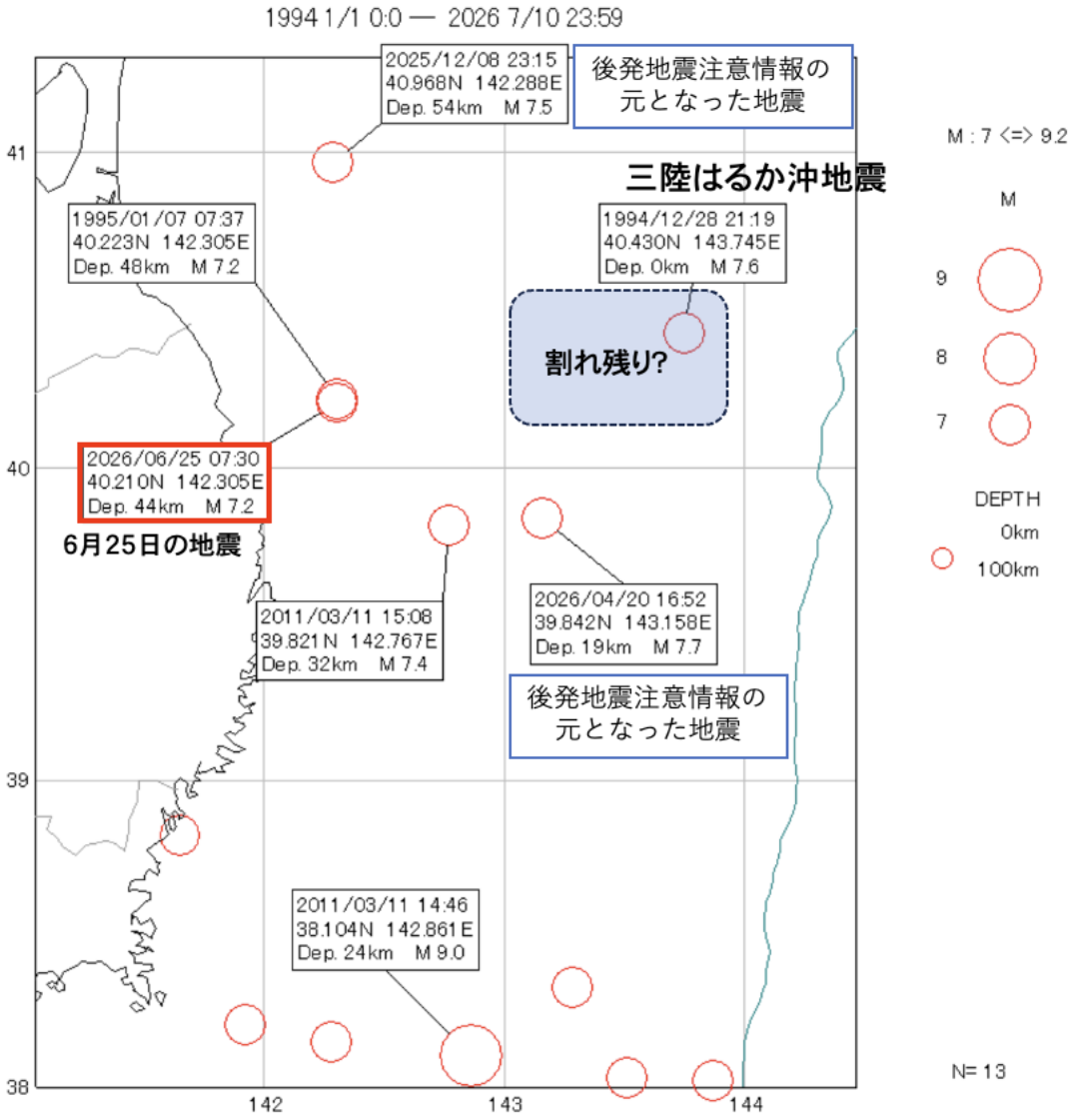
DuMA ニュースレター *2026年7月13日*

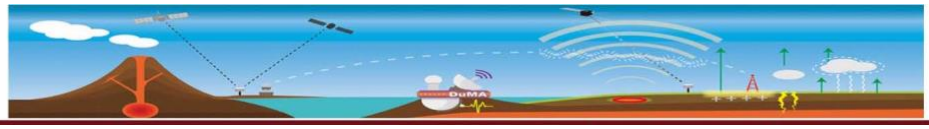
岩手県・青森県沖の状況

政府の地震調査委員会は7月10日、定例の会合を開き6月25日に岩手県沖で発生したマグニチュード7.2の地震について、地震活動は継続しており、現状程度の活動は当分続くと考えられる」とする評価をまとめました。この地震では、青森県階上町で震度6強の揺れを観測していました。この地域では、6月28日にも最大震度5弱を観測する地震が発生するなど、7月8日までに震度1以上を観測する地震が30回以上起きていました。岩手県および青森県沖では、2025年11月から活発な地震活動が続いており、今回の地震のさらに東側では1994年12月にマグニチュード7.6の「三陸はるか沖地震」が発生しています。現時点で、「三陸はるか沖地震」の震源域ではゆっくり地震も発生しているようで、ここに歪がたまっていると考えられています。



地震調査委員会の小原委員長は「東北沖では地震活動が続いていて、活動のポテンシャルが高くなっていると考えられる。引き続き同じような地震が起きるおそれがあると考え注意してほしい」とのコメントを発表しています。

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、DuMAは一切責任を問わないものとします。 提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。 DuMAニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。 ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) — 記事の無断転用は禁止します。— 本掲載記事の著作権はDuMA Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は DuMAが独占ライセンスを受けている登録商標です。



テレビ静岡の富士山に関するニュース

今年も富士山登山シーズンがやってきました。富士山は７月１日に開通した２ルートに加え、10日、富士宮・御殿場ルートの通行止めが解除され、本格的な登山シーズンが始まりました。

我々が決して忘れてはならないこと、外国人にもしっかり伝えるべきことは「富士山は火山である」という事です。テレビ静岡のニュースでは、富士山で噴火の危険が高まる時の兆候や注意点について、考察を行っています。

実はDuMA/CSOも知らなかったのですが、静岡大学の火山学が専門の小山真人名誉教授のコメントで、「噴火警戒レベルは富士山にもある。3になったら入山規制。富士山の場合、上げていく時に2は使わない。火口の場所が分からないので2は使わない。1から3に上がるが、その前に火山の“解説情報”が出る。それを気にかけてもらう」という事を発言されていました。

https://news.yahoo.co.jp/articles/3cf7b1f66ec61d3696b35b8df3a77e40a90af73e

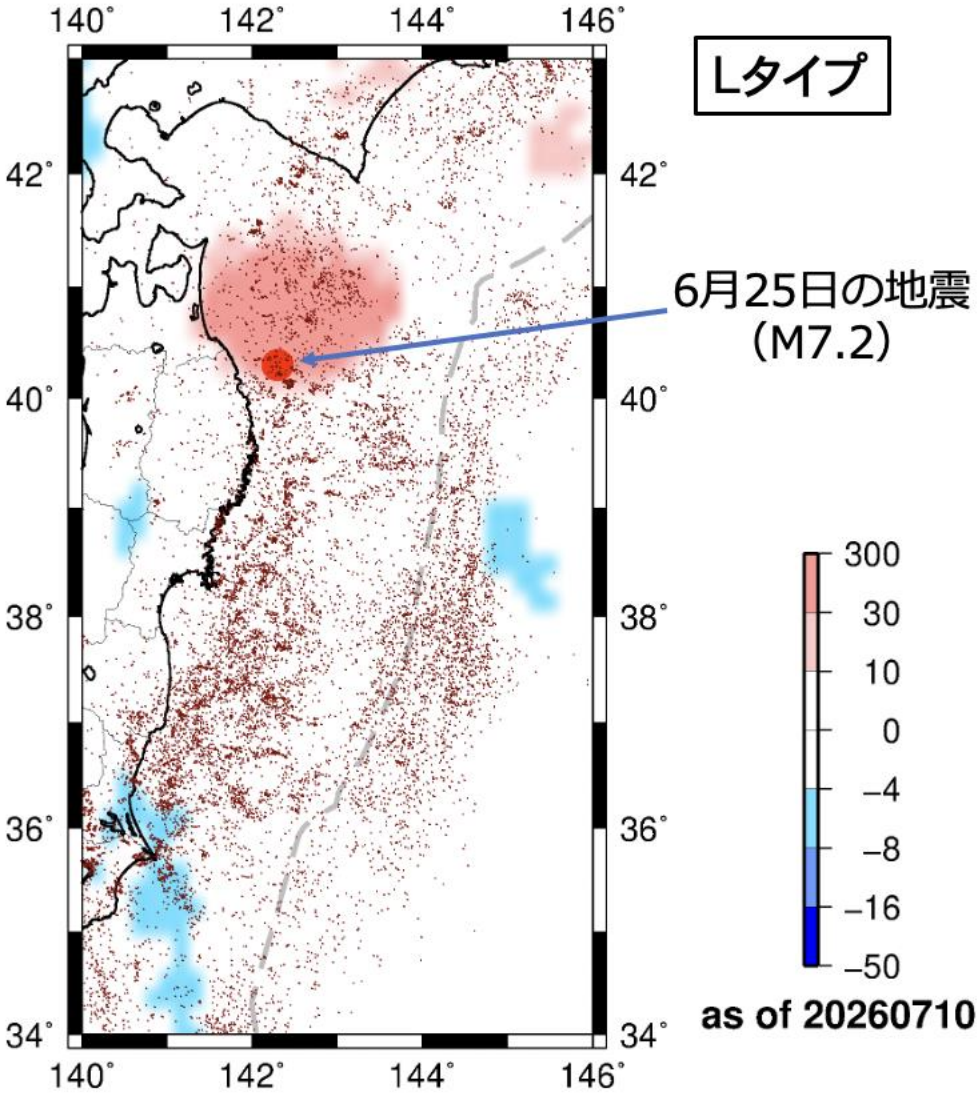
上記URLで映像（約6分間）のニュースとなっていますが、よくまとまっています。お時間のある時にぜひご覧くださいませ。

東北地方海域の地下天気図®

今週は6月１日のニュースレターに続き、7月10日時点の東北地方海域を中心としたＬタイプ地下天気図をお示しします。6月１日のニュースレターでは「茨城県・千葉県の地震活動静穏化がほとんど消失した」という事を報告させて頂きました。ところがその後の解析で、再び当該地域に青い地震活動静穏化領域が出現している事がわかりました。今月の解析では、前回の解析よりは少し地震活動静穏化の領域が小さくなっている事はわかりましたが、まだはっきりと確認できる事がわかりました。

東北沖では、やはり青森から岩手沖にかけての領域ではっきりとした地震活動活発化領域が見てとれます。図中の●は6月25日の地震の震央です。前のページの図でわかりますが、ほぼ同じ場所で1995年1月にマグニチュード7．2の地震が発生していた事がわかります。

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、DuMAは一切責任を問わないものとします。 提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。 DuMAニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。 ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。（個人会員） — 記事の無断転用は禁止します。— 本掲載記事の著作権はDuMA Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®はDuMAが独占ライセンスを受けている登録商標です。



7月10日時点のＬタイプ地下天気図，北海道南西沖の静穏化は少し解消傾向と思われる

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、DuMAは一切責任を問わないものとします。 提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。 DuMAニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。 ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) — 記事の無断転用は禁止します。— 本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。